

## 法雲寺のビャクシン診断結果について

調査者 鳥越 茂・宮田和男・藤原正彦  
山岡秀行・鬼丸貞英

平成 28 年 4 月 22 日（金）に診断したビャクシンについて以下のとおり診断します。

1. 場所：上郡町苔縄 法雲寺地内
2. 樹種：ビャクシン
3. 幹回り：10.74m
4. 根回り：13.5m
5. 診断結果

東西南北に分けて診断しました（添付写真参照）。

写真 - 1（南）はかつて枝があったことが分かる（折損する前）。

写真 - 2（同）4 月 9 日頃の強風により折損した枝

対策：道が狭く 25t クレーンが入らないので、ロープワークにより登って除去

写真 - 3（東） 左の赤い丸枠は枝が飛び出し折損の危険があるので剪定により除去する。

右の赤丸枠内はツバキの集団で、ビャクシンを主役にするために剪定して小さくする。

写真 - 4（西） 枝葉の密度がたかく病虫害が発生しやすく、剪定して風通しを良くする。

写真 - 5（北） 赤松氏の墓所で、建物の真上に大きな枝が伸びている。折損すると建物を破壊し危険なので①または②の位置で切る。②で切りたいが樹高 20m 以上あり経費の関係で切れない場合はとりあえず①で切る。

緊急度の高いものから順番に挙げる。

南（写真 - 2）>北（写真-5）>東（写真-3）>西（写真-4）

# 法雲寺のビャクシン



写真-1 (南) 以前



写真-2 (南) 現在 H28.4.22



写真-3(東)



写真-4(西)

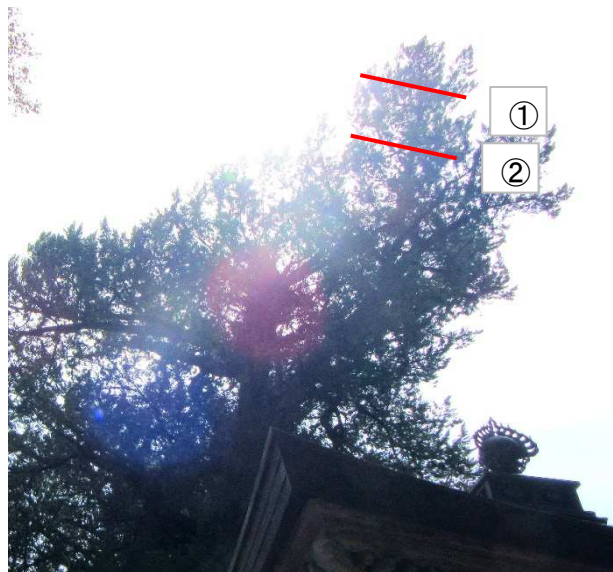


写真-5(北)